

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 みんなの病院

| 法適用区分   | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報          |
|---------|---------|---------|---------------|-----------------|
| 条例全部    | 病院事業    | 一般病院    | 300床以上～400床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態    | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2      |
| 直営      | 25      | 対象      | ド透I訓ガ         | 救臨感へ災地輪         |
| 人口（人）   | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置          |                 |
| 428,296 | 27,300  | 非該当     | 7：1           |                 |

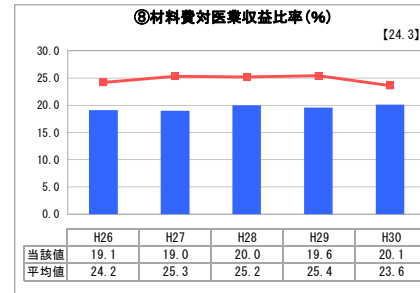
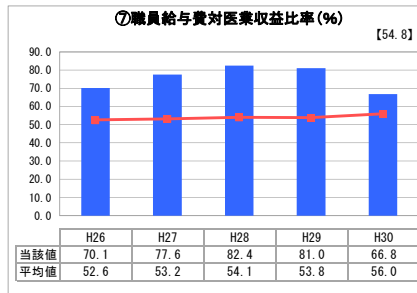
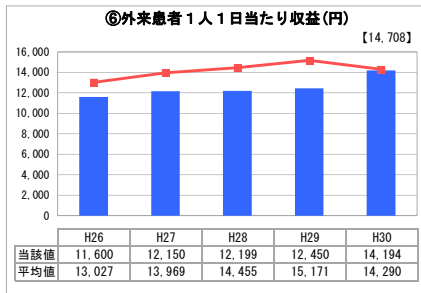
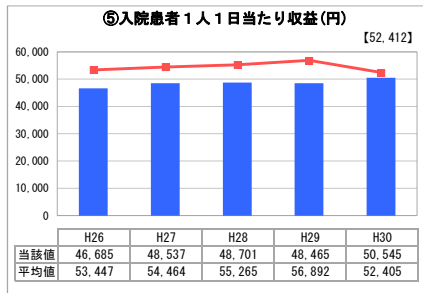
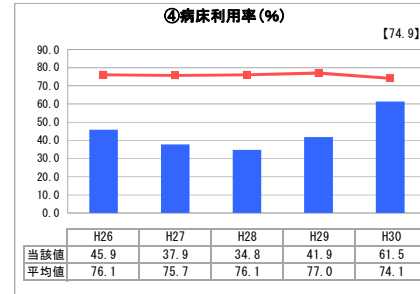
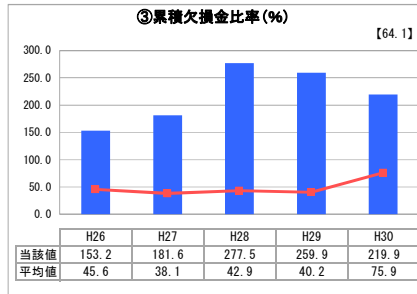
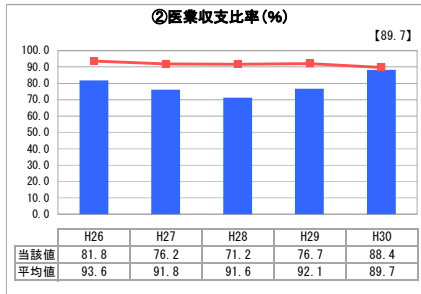
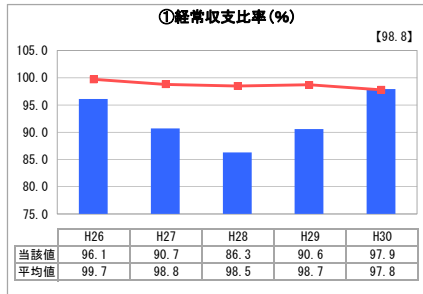
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

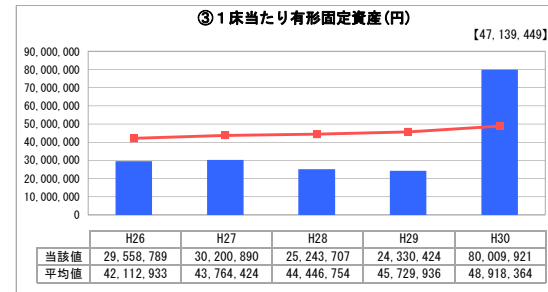
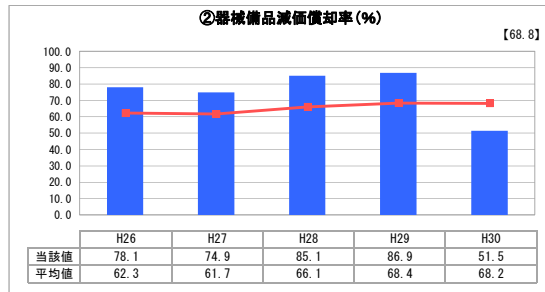
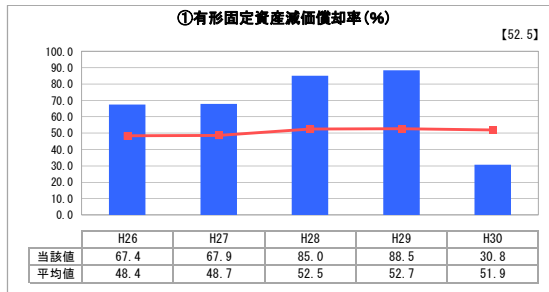
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養）  | 許可病床（結核）    |
|----------|-----------|-------------|
| 299      | -         | -           |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計）    |
| -        | 6         | 305         |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養）  | 稼働病床（一般+療養） |
| 289      | -         | 289         |

| 当該病院値（当該値）    | 類似病院平均値（平均値） |
|---------------|--------------|
| ■             | —            |
| 【】 平成30年度全国平均 |              |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| 平成30年度     | -年度       | -年度       |

## I 地域において担っている役割

急性期医療を担う中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、公立病院として、救急医療や、がん治療などの専門医療、実習生等の受け入れによる人材育成など、採算性等の面から民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

②医業収支比率、③累積欠損金、④病床利用率、⑤⑥入院患者（外来患者）1人1日当たり収益、⑦職員給与対医業収益比率、⑧材料費対医業収益比率については、類似病院平均値を下回った（③、⑦は上回った）ものの、平成30年9月に高松市立みんなの病院へ移転統合したことにより、昨年度と比較すると大きく改善した。また①経常収支比率については類似病院平均値を上回った。これは移転後の患者数が増加したことにより、入院収益等が増加したためである。今後、減価償却費の増加等により、経常収支比率などの悪化が予想されるが、更なる新規患者の確保を図ることで、病院経営の健全化に努めたい。

### 2. 老朽化の状況について

平成30年9月に高松市立みんなの病院に移転統合したことや、それに伴い医療器械等を大きく更新したことにより、①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については、類似病院平均値を大きく下回り、また終年比較において大きく数値が改善した。一方で、③1床当たり有形固定資産は経年比較及び類似病院平均を大きく上回っており、今後、減価償却費として経常支出の増大が予想されることから、更なる新規患者の確保を図ることで、その投資を経常収益で賄えるよう努めていきたい。

## 全体総括

市民病院と香川診療所が移転統合し、平成30年9月から、高松市立みんなの病院としてスタートし、急性期病院としての医療機能の充実を図る一方、地域包括ケアも見据えた病床機能の強化や人材育成についても、積極的に取り組んだことで、経営の健全性・効率性においても一定の効果があった。しかしながら、施設規模拡大による経費増の影響等から、今後、減価償却費が増大するほか、新病院整備に係る企業債の償還が始まるなど、引き続き厳しい経営状況が想定される。このようなことから、平成29年度に策定した第3次高松市病院事業経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）に基づき、これまで以上に良質な医療の提供に努めることで、患者数の更なる増加を図り、堅実かつ適正な病院経営に取り組むたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 市民病院塩江分院

| 法適用区分   | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分         | 管理者の情報          |
|---------|---------|---------|--------------|-----------------|
| 条例全部    | 病院事業    | 一般病院    | 50床以上～100床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態    | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1    | 指定病院の状況 ※2      |
| 直営      | 7       | -       | 訓            | へ               |
| 人口（人）   | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置         |                 |
| 428,296 | 3,621   | 第2種該当   | 20:1         |                 |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

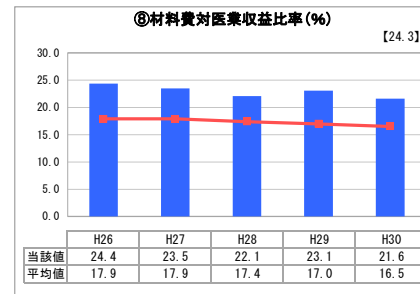
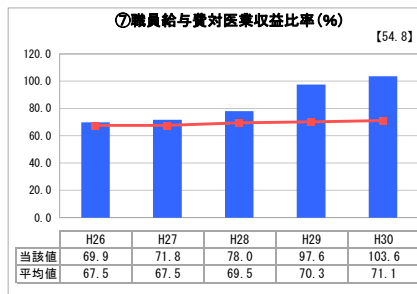
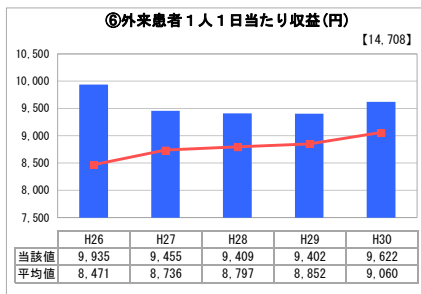
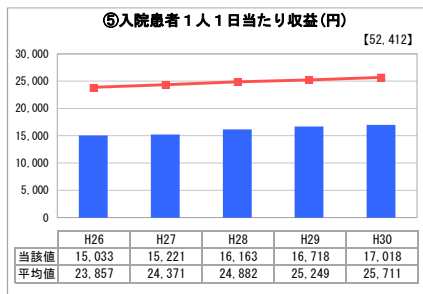
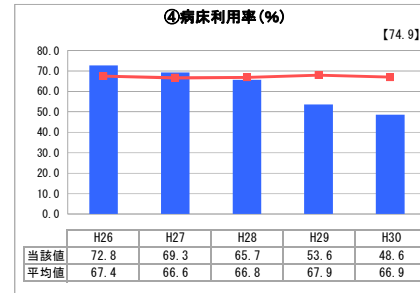
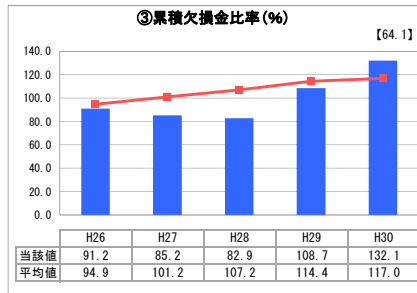
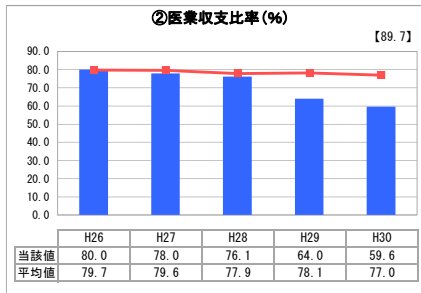
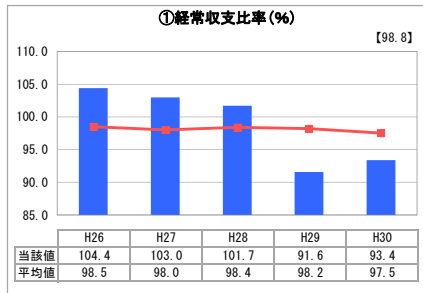
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養）  | 許可病床（結核）    |
|----------|-----------|-------------|
| -        | 87        | -           |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計）    |
| -        | -         | 87          |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養）  | 稼働病床（一般+療養） |
| -        | 56        | 56          |

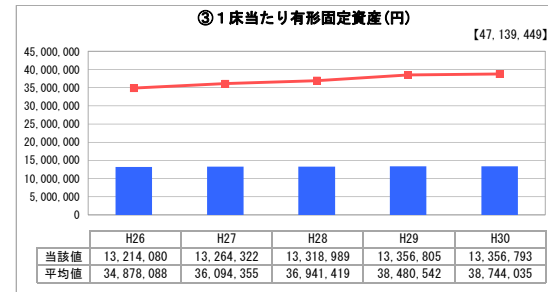
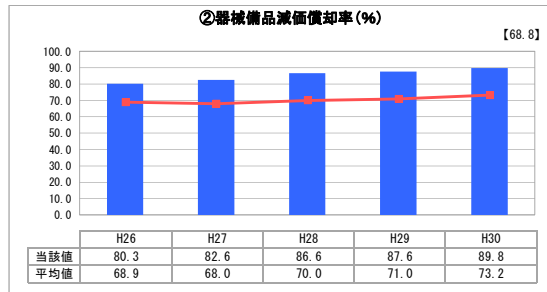
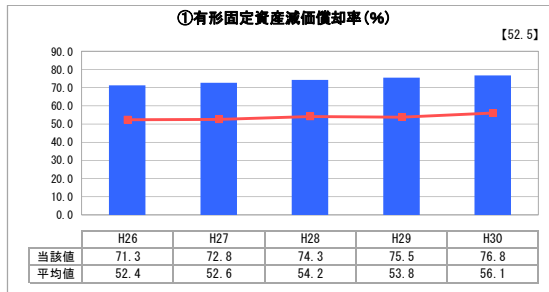
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - 年度       | - 年度      | - 年度      |

## I 地域において担っている役割

塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅で家族の負担を軽減しながら安心して療養できるよう、「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養を支援している。また、訪問診療や訪問看護を始め、歯科医師や理学療法士等、多職種が地域に出向き、専門性を活かした活動の充実のほか、交通手段を持たない地域住民のための患者送迎バスの運行など、職員全員で地域を支える「地域まるごと医療」を実践している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度に引き続き、塩江地区人口の減少のほか、入院患者の死亡等の影響等により、患者数が減少し、④病床利用率は、5.0%を下回るに至っている。これにより医業収益が減少し、①経常収支比率、②医業収支比率、③累積欠損金比率、⑦職員給与と費対医業収益比率において類似病院平均値を下回る（③、⑦は上回る）結果となった。今後において、急性期病院や介護施設等を訪問し、紹介患者の確保を図る等により、患者数確保に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

平成29年度に引き続き、①有形固定資産減価償却率、②器械備品償却率については、類似病院平均値を上回っており、老朽化が進んでいることが分かる。③1床当たり有形固定資産についても、類似病院平均値を大きく下回っており、施設設備への投資が平均よりも少ない。塩江分院は、平成30年9月に開院したみんなの病院の附属医療施設として、観光施設と一体的に整備しているところである。整備完了までは、現有設備の適切な維持管理に努めたい。

### 全体総括

人口減少、高齢化が進んでいるという地域の特性上、大幅な患者数の増加は困難と思われるが、できる限りの患者確保に向けた取組が必要である。また、平成29年度に策定した第3次高松市病院事業経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）において、高松市立みんなの病院の附属医療施設として、再編・ネットワーク化を行うこととしており、30年度は整備候補地を自然休養センターの跡地及びその隣接地とし、道の駅及び浴場施設と一体的に整備することで検討を開始したところである。速やかに整備を進めるとともに、「地域まるごと医療」をスローガんに、健全経営に努め、保健、医療、福祉が一体となって地域包括ケアに貢献していきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立中央駐車場

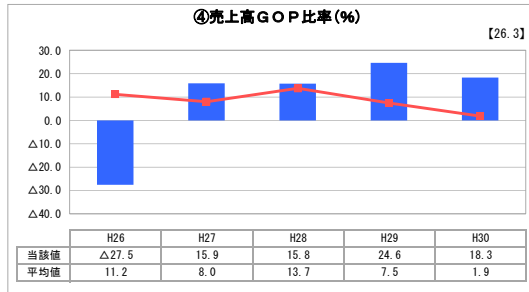
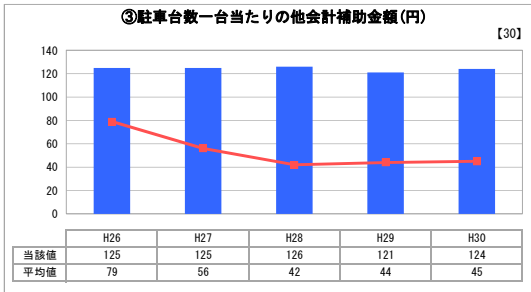
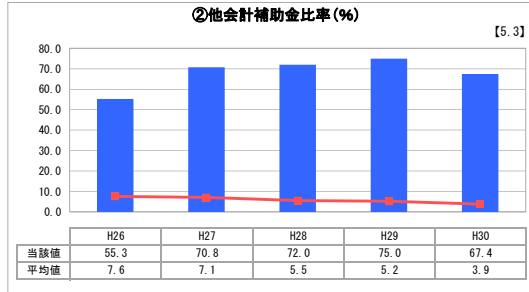
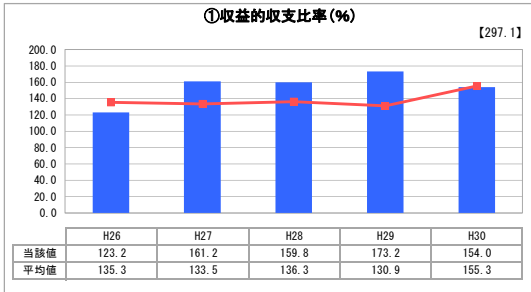
|             |         |     |             |        |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A 2 B 2     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 地下式 | 35          |        |

|         |                |                          |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
| 公共施設    | 有              | 12,862                   |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 321     | 300            | 代行制                      |

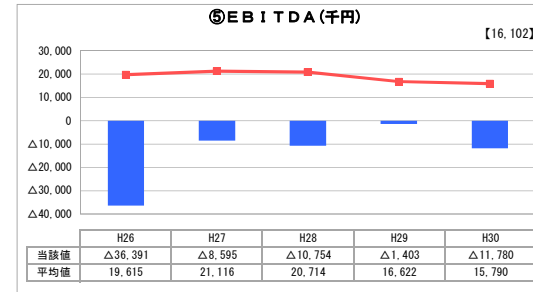
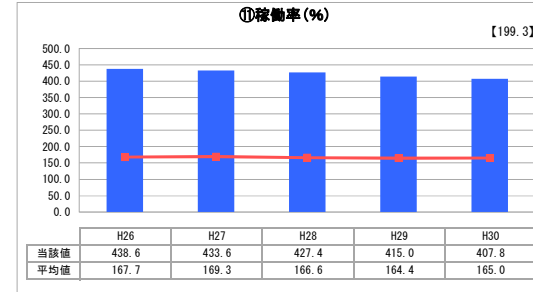
**グラフ凡例**

- 当該施設数値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



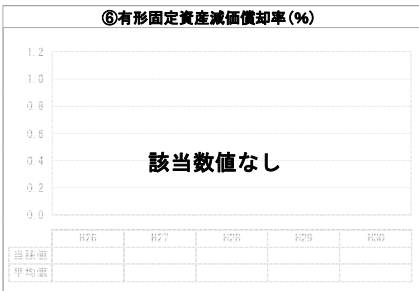
## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率については、類似施設の平均値と同程度となっている一方で、他会計補助金比率は、非常に高く、また、EBITDAについても低調となっているが、隣接する市役所来庁者への無料補填の財源である一般会計繰入金が、収入の大部分を占めていることが原因である。今後、来庁者以外の方の利用促進を図り、更なる収益の増加に向けて経営努力してまいりたい。

**2. 資産等の状況について**  
 本施設は、市役所本庁舎に隣接する中央公園地下に建設した駐車場であり、敷地の地価はあまり高くなく、供用開始からは約50年が経過しており、施設の老朽化が進む中、カーカー交換推奨を大幅に超過している非常時防災設備(非常放送設備)等の更新を始め、多額の設備投資見込額が発生することから、設備更新等について、今後、計画的に修繕を実施していく必要がある。

**3. 利用の状況について**  
 市役所及び都市公園に隣接又は一体となっている駐車場であり、市役所に来庁される方の短時間利用が主たる部分を占めていることから、年度末の転出転入の多い時期や、選挙における期日前投票期間など、利用が集中する際には満車となるものの、休日の利用が低調であることから、休日向けの利用促進策を講じる必要がある。

## 2. 資産等の状況

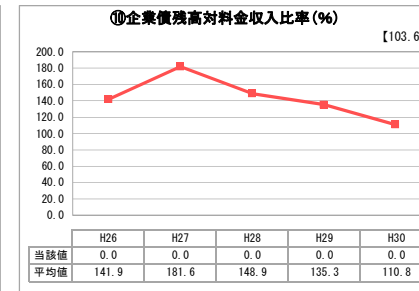


⑦敷地の地価(千円)

202

⑧設備投資見込額(千円)

158,736



**全体総括**  
 本駐車場は、市役所の来庁者及び多様に開催される公園内のイベントによる利用者も多く、都市施設としての必要性は非常に高いことから、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」(平成27年度～令和6年度)に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいりたい。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立南部駐車場

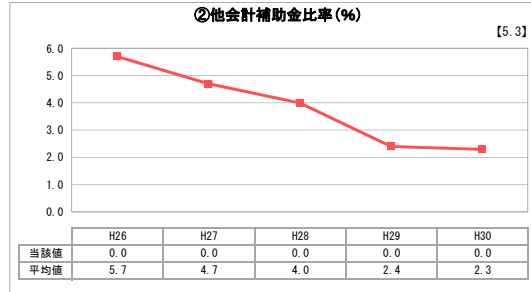
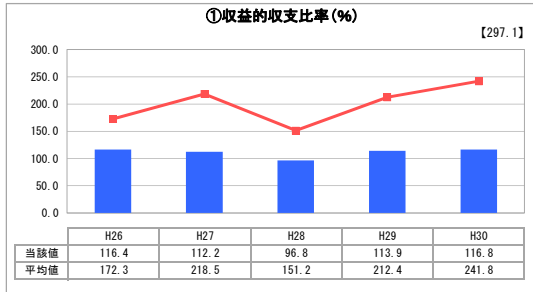
|             |          |     |             |        |
|-------------|----------|-----|-------------|--------|
| 業務名         | 業種名      | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
| 法非適用        | 駐車場整備事業  | -   | A1B1        | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類       | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 附置義務駐車施設 | 立体式 | 31          |        |

|         |                |                          |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
| 商業施設    | 有              | 8,846                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 408     | 300            | 代行制                      |

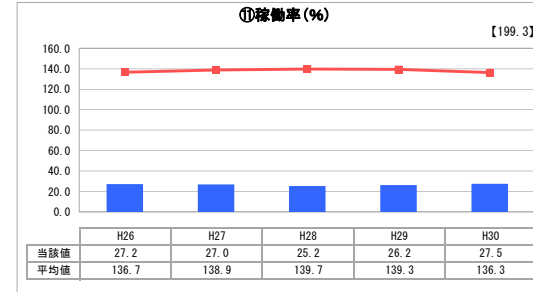
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率については、平成26年度以降は、同程度で推移しており、類似施設平均値を大きく下回っている。また、売上高GOP比率及びEBITDAについては、28年にはマイナスに転じているものの、それ以外はプラスとなっており、また、建設費の起債償還について平成18年で完了しており、経営状況は決して良好とは言えないものの、今後、更なる費用削減に取り組み、安定的な経営状態を目指す必要がある。

## 2. 資産等の状況について

本施設は、中央商店街のうち、南端にあたる田町商店街に隣接した地上5階建ての立体駐車場であり、敷地の地価はあまり高くなく、供用開始から31年が経過しており、施設の老朽化が進む中、消防法等の義務付けにより設置している防火シャッター等の更新を始め、多額の設備投資見込額が発生することから、設備更新等について、今後、計画的に修繕を実施していく必要がある。

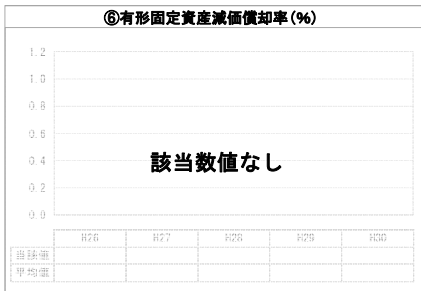
## 3. 利用の状況について

商店街に隣接する駐車場として、商店街利用者の利用が少ないながらも一定程度あることから、商店街振興組合をはじめとして、施設を必要とする方がいる中、立体駐車場として狭く設計された車室の再配置や、民業を圧迫しない定期利用料金の設定等、利用促進策を講じる必要がある。

## 全体総括

本駐車場は、付近に大規模な駐車場がない中で、中心市街地南部の幹線道路に面した立地条件からも、中心市街地への自動車の流入抑制に貢献しており、都市施設としての必要性は非常に高いことから、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいります。

## 2. 資産等の状況

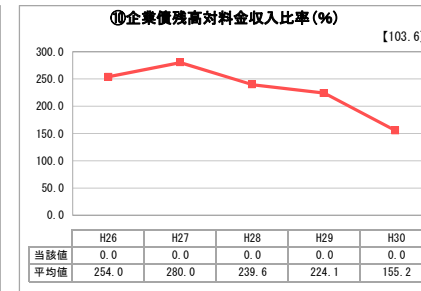
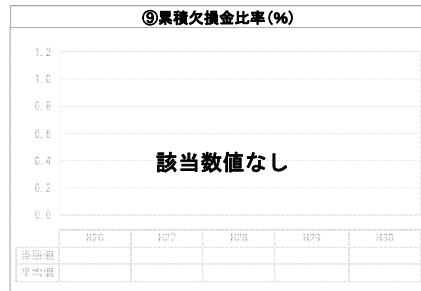


⑦敷地の地価(千円)

148

⑧設備投資見込額(千円)

84,726



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立美術館地下駐車場

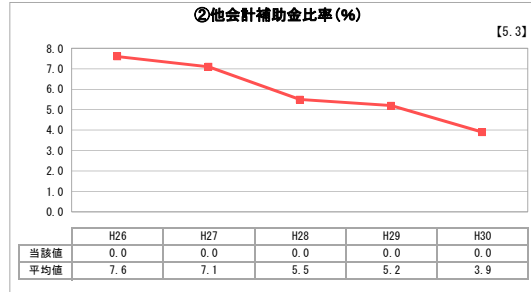
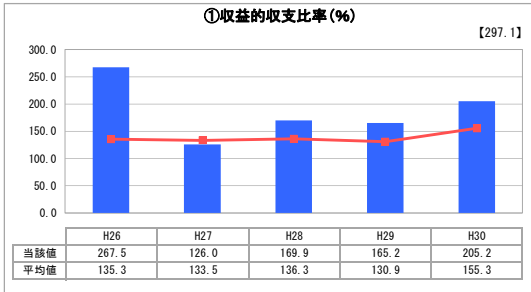
| 業務名         | 業種名      | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|----------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業  | -   | A 2 B 2     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類       | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 附置義務駐車施設 | 地下式 | 30          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 公共施設    | 有              | 5,924                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 144     | 300            | 代行制                      |

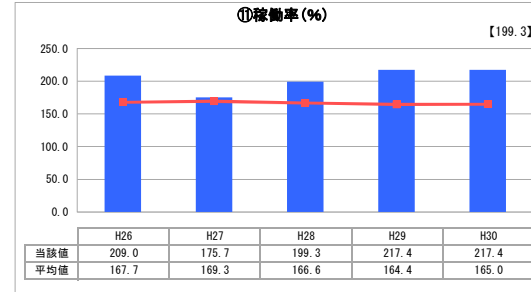
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
平成27年1月の美術館改修工事に伴い、一旦、収益的収支比率について、類似施設平均値まで下がったものの、28年1月のリニューアルオープン後は、従前まで回復しつつある。また、売上高GOP比率及びEBITDAを見ても、類似施設平均値を上回っており、かつ、建設費の起債についても、19年で償還を完了し、現在、他会計からの補助金には依存しておらず、経営状況は良好である。今後も、更なる収益の増加に向けて経営改善に努めてまいりたい。

## 2. 資産等の状況について

本施設は、美術館の地下に一体的に建設した駐車場であり、敷地の地価はあまり高くなく、供用開始から約30年が経過しており、施設の老朽化が進む中、湧水槽に流入される湧水を、場外に処理するため設置しているポンプ等の更新を始め、多額の設備投資見込額が発生することから、設備更新等について、今後、計画的に修繕を実施していく必要がある。

## 3. 利用の状況について

年間約14万人を超える利用者を抱える美術館と一体となっている駐車場であり、美術館の来館者以外にも、隣接する丸亀町をはじめとする中央商店街来街者の利用も多く、稼働率については、類似施設平均値を上回っていることから、今後も、継続的に利用環境の維持向上に努める。

## 全体総括

本駐車場は、美術館来館者や、隣接する商店街来街者による利用者も多く、都市施設としての必要性は非常に高いことから、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいりたい。

## 2. 資産等の状況

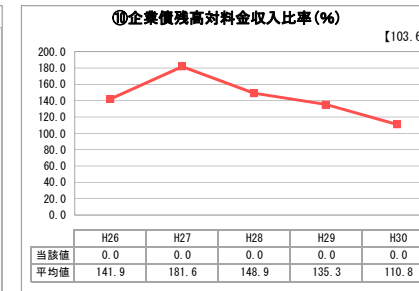


⑦敷地の地価(千円)

132

⑧設備投資見込額(千円)

44,658



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立袖場川駐車場

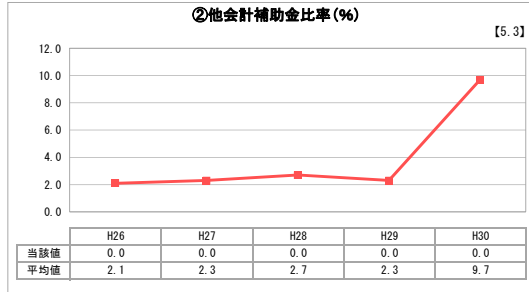
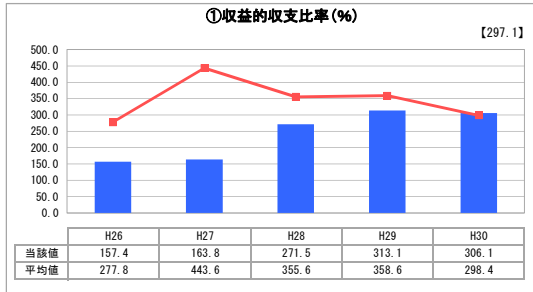
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A 3 B 2     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 広場式 | 30          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 公共施設    | 有              | 7,442                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 227     | 200            | 代行制                      |

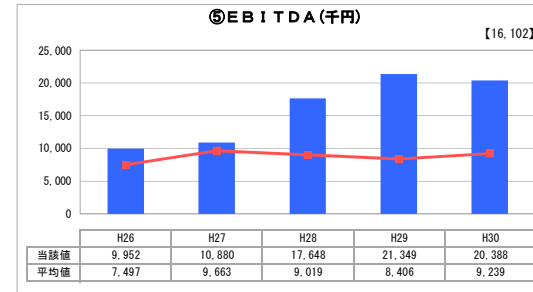
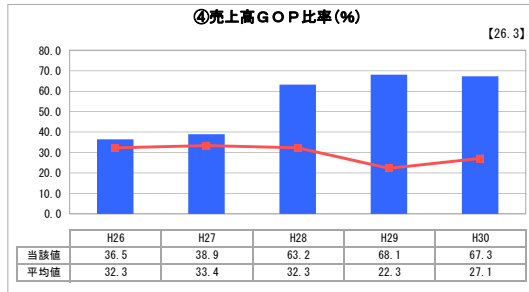
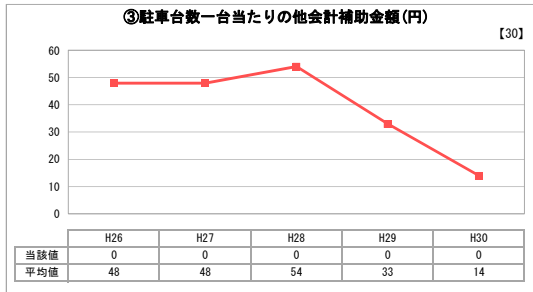
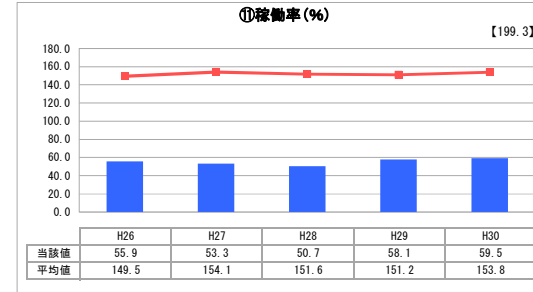
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

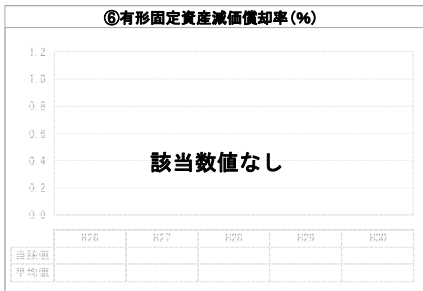
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

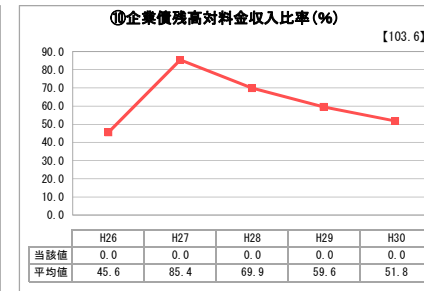


⑦敷地の地価(千円)

56

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率については、100%を超えており、近年は、類似施設の平均値まで増加傾向にある。また、売上高GOP比率及びEBITDA等については、類似施設平均値と同程度であったが、平成26年に開院となった県立中央病院関係者の定期契約による収入増加を受け、平均値を上回っていることから、今後は、更なる収益の増加に向けて経営改善に努めてまいりたい。

**2. 資産等の状況について**  
 本施設は、袖場川河口部を埋め立て、整備した駐車場であり、資産価値は低いものの、施設の設備も簡易的であり、今後、必要とされる設備投資費は少額であることから、施設の維持管理については適切に実施してまいりたい。

**3. 利用の状況について**  
 本駐車場の稼働率に関しては、類似施設の平均値を大きく下回っているものの、平成26年に開院となった県立中央病院関係者の定期契約が多く、施設の稼働率アップに繋がっている。近年、増加する観光客を乗せた大型バス用の公共駐車場が近隣に無いことから、今後は、そうした駐車バスの需要を扱えるよう広報・周知を図る必要がある。

**全体総括**  
 本駐車場は、観光バスに対応した駐車場として、また、現在、利用の大部分を占める県立中央病院の職員用駐車場として、必要性は高く、また、将来的には隣接する競輪場敷地とセットでの利活用を含め、本市の優先する施設の建設候補地としても価値があることから、今後も、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいりたい。



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立高松駅前広場地下駐車場

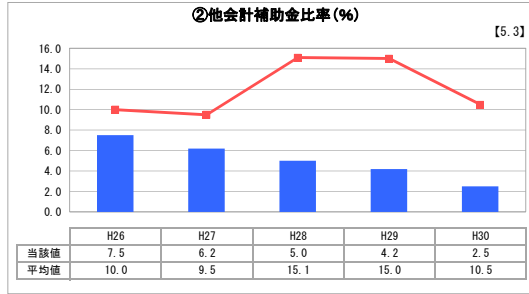
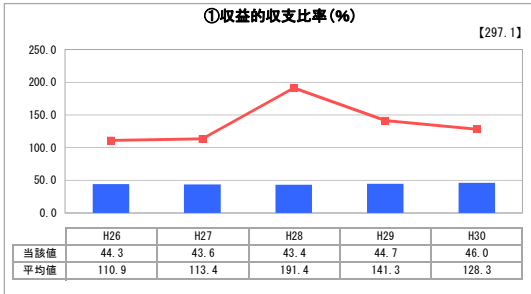
| 業務名         | 業種名      | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|----------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業  | -   | A 2 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類       | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 附置義務駐車施設 | 地下式 | 17          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 駅       | 有              | 18,826                   |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 395     | 300            | 代行制                      |

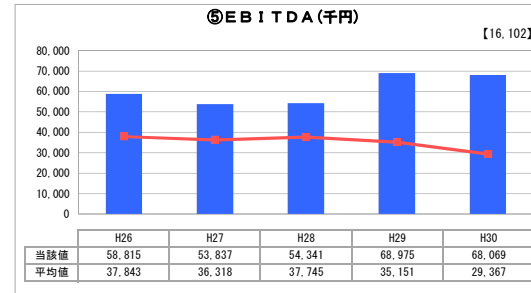
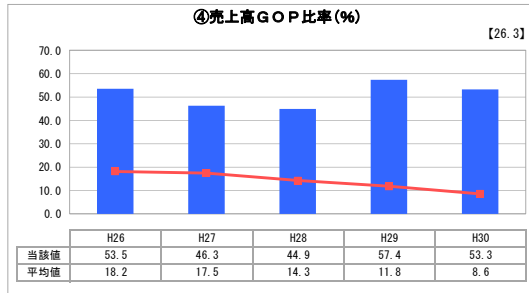
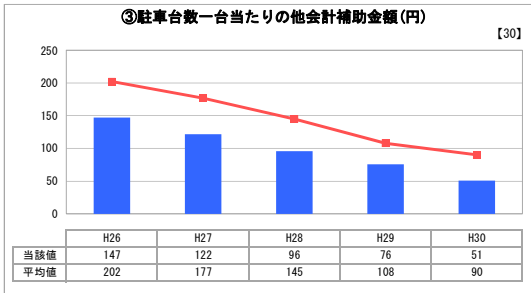
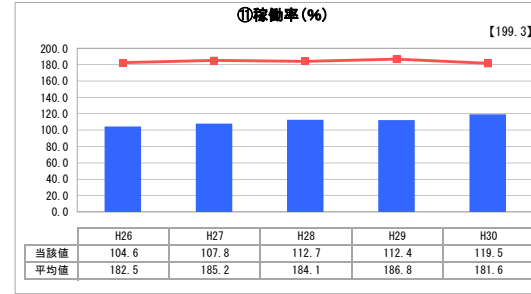
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

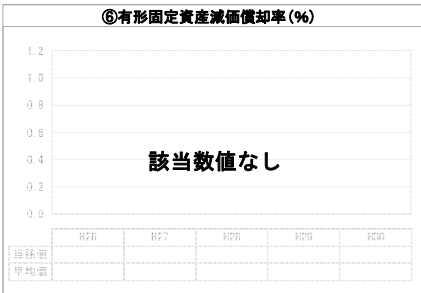
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

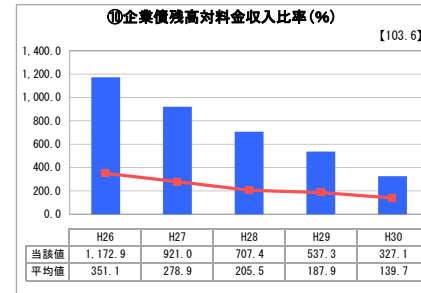
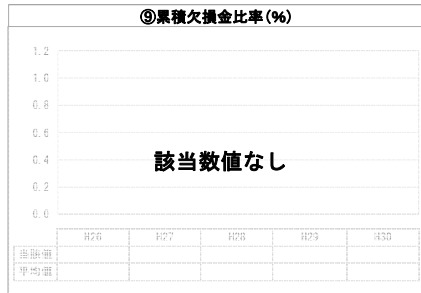


⑦敷地の地価(千円)

239

⑧設備投資見込額(千円)

214,377



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 本施設については、収益的収支比率は類似施設平均値を大きく下回り、また、他会計補助金比率については、年々、減少傾向にあり、平成26年度以降は、全国平均を下回り、今後も減り続けていく見通しである。また、売上高GOP比率及びEBITDA等は、類似施設平均値を大幅に上回っている状況であることから収益性は高く、令和4年には、建設時の借債償還完了予定であることから、現在は、他会計からの補助金に依存した経営状況ではあるが、今後、起債残高については、順次、減少していくもので、収益的収支比率については、上昇傾向になると予想でき、更なる収益の増加に向けて経営改善に努めてまいりたい。

**2. 資産等の状況について**  
 本施設は、サンポート周辺の大規模再開発に合わせてJR高松駅前広場地下に建設した駐車場であり、敷地の地価はあまり高くなく、供用開始から約17年が経過しており、施設の老朽化が進む中、メーカー交換推奨を超過している駐車管制を目的として設置している精算機の更新を始め、多額の設備投資見込額が発生することから、設備更新等について、今後、計画的に修繕を実施していく必要がある。また、起債残高対料金収入比率については、償還完了を迎える令和4年に向け、大幅な減少が見込まれることから、今後、設備の維持修繕に費用を充当できる見通しである。

**3. 利用の状況について**  
 高松駅及び高松サンポートに隣接又は一体施設となっている駐車場であり、サンポートホールや隣接する多目的広場における休日のイベント開催時には満車となることも多く、稼働率が類似施設の平均値からは劣るものの、100%を超えており、一定の利用状態を確保しているといえる。今後は、稼働率の更なる向上に向け、平日の利用促進を図る必要がある。

**全体総括**  
 本駐車場は、高松駅やサンポートで開催される各種社会イベント等の参加者の利用が多く、都市施設としての必要性は非常に高いことから、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいりたい。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立瓦町駅地下駐車場

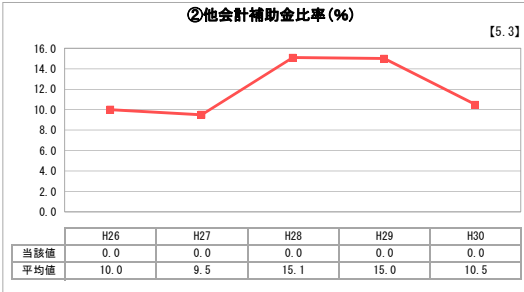
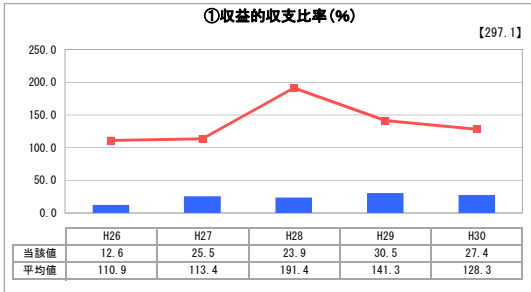
|             |          |     |             |        |
|-------------|----------|-----|-------------|--------|
| 業務名         | 業種名      | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
| 法非適用        | 駐車場整備事業  | -   | A 2 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類       | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 附置義務駐車施設 | 地下式 | 21          |        |

|         |                |                          |
|---------|----------------|--------------------------|
| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
| 駅       | 有              | 17,077                   |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 448     | 300            | 代行制                      |

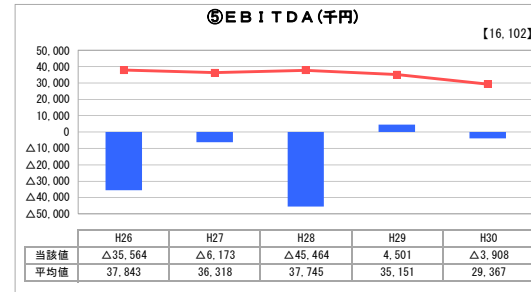
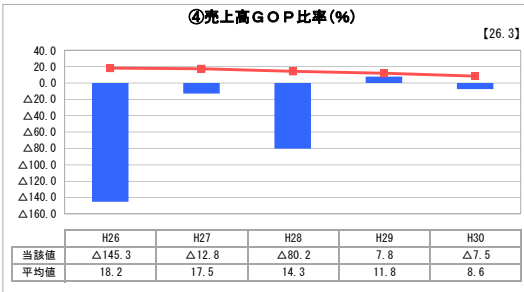
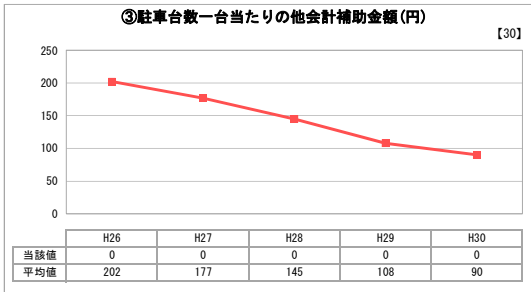
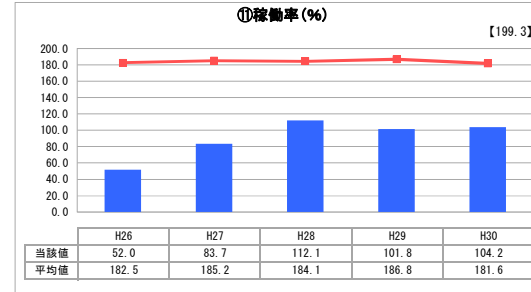
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

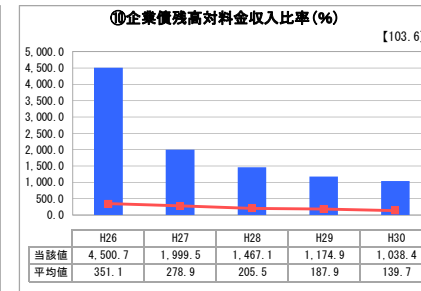


⑦敷地の地価(千円)

199

⑧設備投資見込額(千円)

169,220



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 本施設については、瓦町駅ビルに一体施設となっている駐車場であり、同駅ビル内の大型テナントが百貨店であった平成25年までは、収益的収支比率は50%は確保していたが、26年に同テナントが撤退後、収益的収支比率は類似施設平均値を大きく下回っており、また、26年以降、売上高GOP比率及びEBITDAが共に減少している。収益等に関しては、近年、類似施設平均値を下回っており、経営状況は決して良好とは言えず、今後、更なる費用削減や更新設備投資等に充てる財源の検討も含め、経営改善に向けた取組が必要である。

**2. 資産等の状況について**  
 本施設は、ことぞん瓦町駅再開発に合わせて、瓦町駅ビルの地下に一体的に建設した駐車場であり、供用開始から約21年が経過しており、施設の老朽化も進み、メーカー交換推奨を超過している場合換気扇を目的として設置しているトップベントファン等の更新を始め、多額の設備投資見込額が発生することから、設備更新等について、今後、計画的に修繕を実施していく必要がある。また、起債残高対料金収入比率については、償還完了を迎える令和6年に向け、大幅な減少が見込まれることから、今後、設備の維持修繕に費用を充当できる見通しである。

**3. 利用の状況について**  
 瓦町駅ビルに一体施設となっている駐車場であり、同駅ビル内の大型テナントが百貨店であった平成25年までは、稼働率が類似施設の平均を上回っていたものの、26年に同テナントが撤退後、著しく稼働率が低下し、27年に郊外型大規模店舗と同様のテナントが入居したにも関わらず、利用は持ち直していない。今後、民業を圧迫しない定期利用料金の設定等の利用促進策を講じる必要がある。

**全体総括**  
 本駐車場は、中心市街地の核を形成する商業テナントを含む再開発ビルに一体施設として、必要性は高く、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいります。



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立高松シンボルタワー地下駐車場

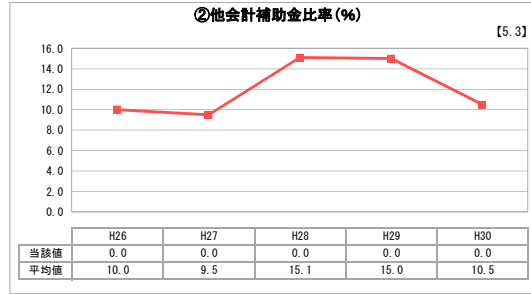
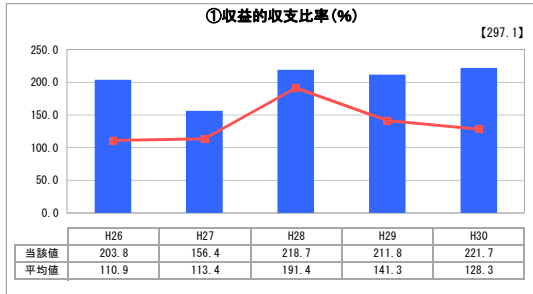
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A 2 B 1     | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 地下式 | 14          |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 商業施設    | 有              | 5,763                    |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 141     | 300            | 代行制                      |

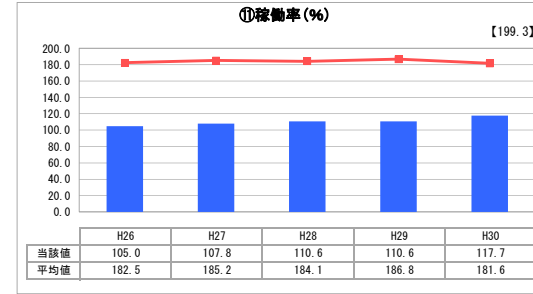
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



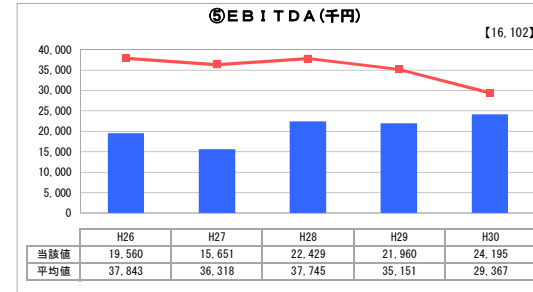
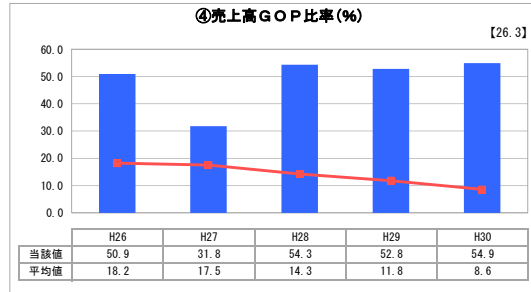
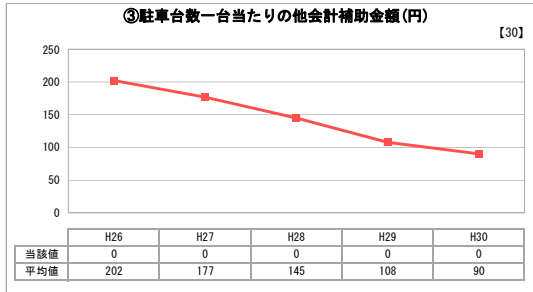
## 分析欄

1. 収益等の状況について  
EBITDAについては、類似施設平均値を少し下回っているものの、収益的収支比率及び売上高GOP比率については、類似施設平均値を大きく上回っていることから、収益性は高いと言える。なお、香川県との共有施設であるため、今後、設備投資については、年々増加していくことも予想されることから、香川県との調整を図り、サンポート地区来場者などの利用促進について、更なる収益の増加に向けて経営努力をまいりたい。

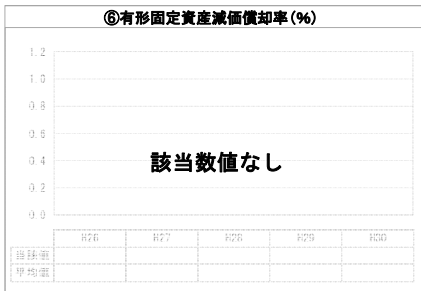
2. 資産等の状況について  
本施設は、サンポート周辺の大規模再開発に合わせて、シンボルタワー地下に一体的に建設した駐車場であり、敷地の地価はあまり高くなく、供用開始から約14年が経過しており、施設の老朽化が進む中、香川県との共有経営という特異性から、中期経営計画には、設備投資見込額を計上していないが、今後、設備投資については、香川県と調整を図りながら、計画的な修繕が必要と考えている。

3. 利用の状況について  
高松駅及び高松シンボルタワーに隣接又は一体施設となっている駐車場であり、サンポートホールと隣接する多目的広場における休日のイベント開催時には満車となることも多く、稼働率が類似施設の平均値からは劣るものの、100%を超えており、一定の利用状態を確保しているといえる。今後は、稼働率の更なる向上に向け、平日の利用促進を図る必要がある。また、香川県との共有経営ということもあり、今後、利用促進の増強に向けて、県との調整が必要である。

全体総括  
本駐車場は、高松駅やサンポートで開催される各種社会イベント等の参加者の利用が多く、都市施設としての必要性は非常に高いことから、今後必要となる多額の設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいりたい。



## 2. 資産等の状況

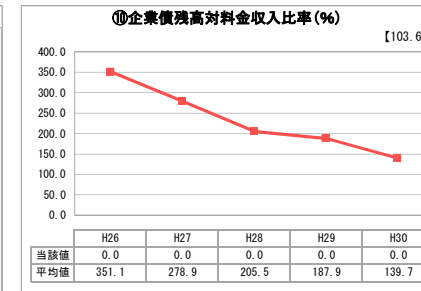
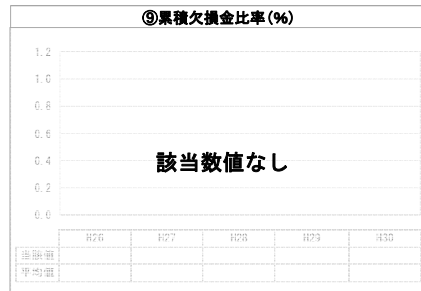


⑦敷地の地価(千円)

119

⑧設備投資見込額(千円)

0



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県高松市 高松市立高松駅南交通広場駐車場

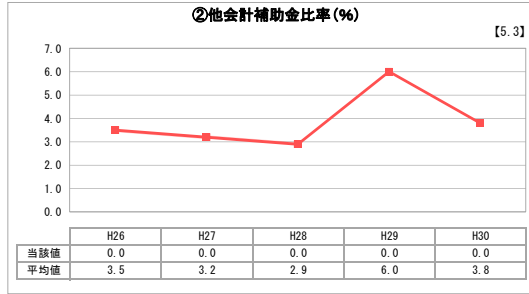
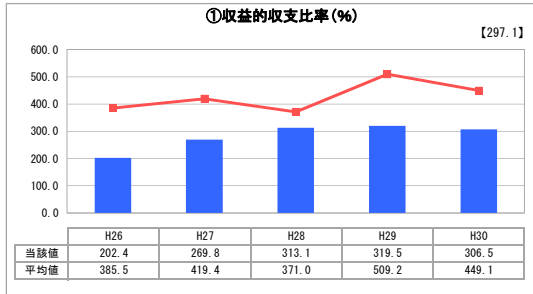
| 業務名         | 業種名     | 事業名 | 類似施設区分      | 管理者の情報 |
|-------------|---------|-----|-------------|--------|
| 法非適用        | 駐車場整備事業 | -   | A3B1        | 非設置    |
| 自己資本構成比率(%) | 種類      | 構造  | 建設後の経過年数(年) |        |
| 該当数値なし      | 都市計画駐車場 | 広場式 | 5           |        |

| 立地      | 周辺駐車場の需給実態調査   | 駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) |
|---------|----------------|--------------------------|
| 駅       | 有              | 926                      |
| 収容台数(台) | 一時間当たりの基本料金(円) | 指定管理者制度の導入               |
| 36      | 300            | 代行制                      |

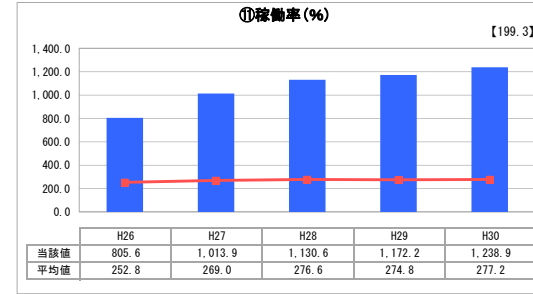
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



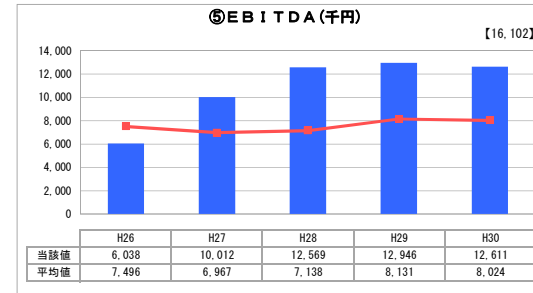
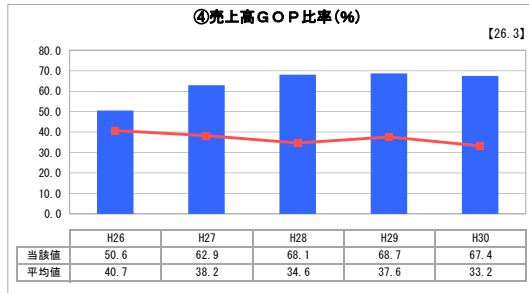
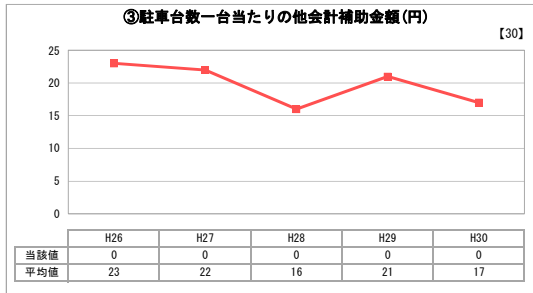
## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率及び売上高GOP比率並びにEBITDAについては、高速バス利用者の送迎用駐車場としての認知とともに、年々稼働率が伸びていることから増加傾向にあり、収益性は高いと言える。今後も、収益アップが継続できるよう、更なる収益の増加に向けて経営努力してまいります。

**2. 資産等の状況について**  
 本駐車場は、高松駅南側に隣接した高速バスターミナルの残地部分を活用し、フラップゲート式の平面駐車場を整備したものであり、整備から5年しか経っておらず、また、今後の設備投資も当面の間は、小規模な維持修繕に留まることから、現在の資産状況は良好である。

**3. 利用の状況について**  
 本駐車場については、高松駅高速バスターミナルの開業に合わせて整備した平面駐車場であり、高速バス利用者の送迎用駐車場としての認知とともに、年々稼働率が伸びている。なお、隣接するJR四国高松駅からの鉄道利用者に対する送迎用駐車場については、通路部にあふれる車両も見受けられることから、本駐車場への誘引を図り、集中する送迎用需要に対応していく必要がある。

**全体総括**  
 JR高松駅周辺の路上駐車問題を受けて整備した駐車場であり、利用状況もその目的に合致したものである。年々増加傾向にあることから、今後も周辺の通行環境改善に資する施設としての役割を担えるよう、平成27年に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）に基づき、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化を図ってまいります。



## 2. 資産等の状況

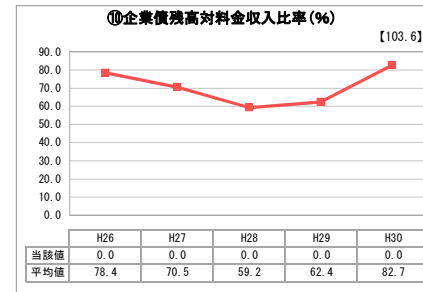


⑦敷地の地価(千円)

239

⑧設備投資見込額(千円)

0



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県 高松市

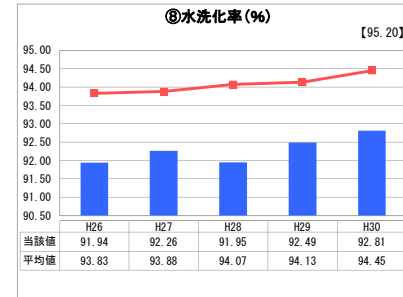
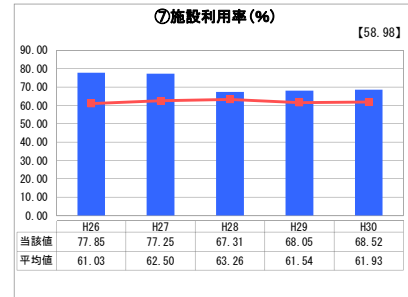
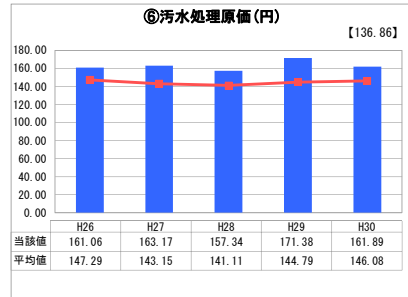
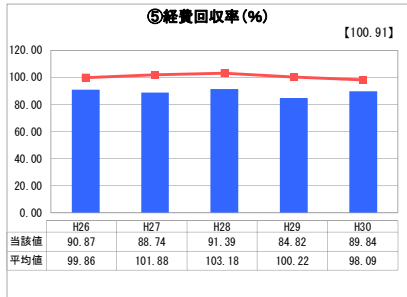
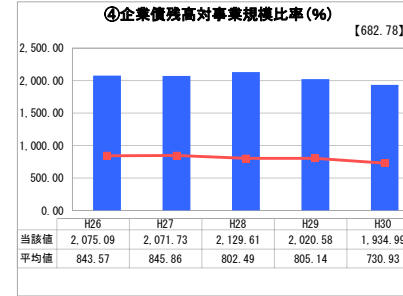
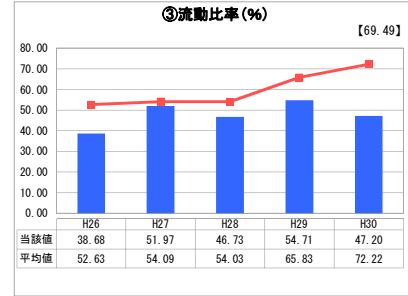
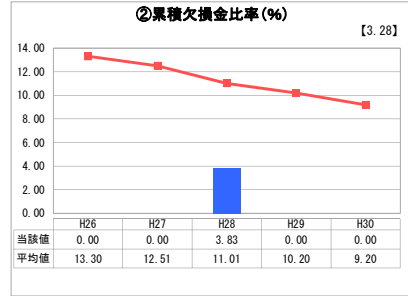
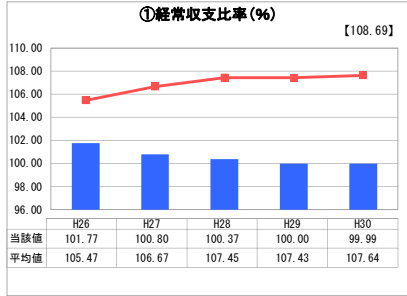
| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 公共下水道  | Ac1    | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 55.58       | 61.34  | 74.46  | 2,461                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 428,296    | 375.41                   | 1,140.88                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 261,259    | 50.71                    | 5,152.02                      |

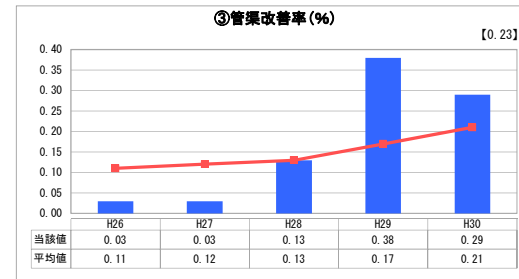
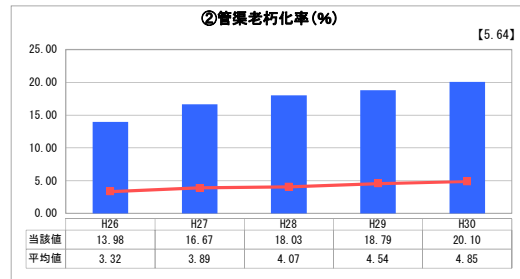
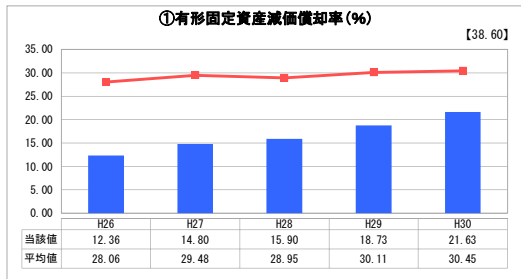
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

②累積欠損金比率については、平成28年度に土地の一部を市長部局に無償譲渡したことに伴い発生した譲渡損に伴う欠損金であり、平成29年度以降、欠損金は発生していない。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値の2倍強となっており、従来から、資本費平準化債を積極的に活用してきたことに加え、平成28年度には、流域下水道移管に伴い、企業債を借入れたこと等が要因として挙げられるが、今後は施設整備事業債の借入れが減少し、企業債残高が減少することが見込まれるので、比率が改善されていくものと考えている。

⑤経費回収率については、適正水準とされる20㎡当りの使用料収入が3,000円に達していないこともあり、汚水処理費を使用料収入で賄えず、不足分を一般会計から繰り入れていることから平均を下回っている。

⑥汚水処理原価についても類似団体平均値を上回っているため、経費回収率に悪影響を及ぼしていると考えられ、より効率的な汚水処理を進める必要がある。

⑧水洗化率については、継続促進を実施してきたことにより、上昇傾向にあるが、類似団体の平均をや下回っており、今後も水洗化率向上に努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が平均より大幅に低くなっている原因としては、平成23年度に法適化した際に既に償却してきた金額は0円とし、その時点の残存価格を取得価格とみなして資産計上し減価償却を開始させたため、償却率が低くなっている。施設の更新が進んでいくにつれて、本来の数値に近づくと思われる。

②管渠老朽化率は類似団体平均値を大きく上回る一方、管渠改善率については、長寿命化計画に基づき、管更生工事等を重点的に進めた結果、平成29年度以降、類似団体平均値を上回ったことから、今後も継続して効率的な改築・更新に努めることで、老朽化率の低下も見込まれる。

### 全体総括

下水道計画区域内の整備が概ね完了したことから、今後は中長期的に下水道施設全体の状態を予測しながら維持管理、改築更新を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する方針としたストックマネジメント計画に基づき、適切な事業運営に努める。

また、中心市街地における浸水対策として、雨水管路及びポンプ場の整備を行うとともに周辺市街地においても、同様の整備を計画的に行い、浸水被害の軽減・解消を図っていく。

現在は、平成27年度に改定し、経営戦略を兼ねることとした高松市上下水道事業基本計画（平成24年度～平成35年度）に基づき、事業を行っているが、平成30年度に水道と下水道の組織が分離したことから、令和元年度に新たに策定する高松市下水道事業基本計画（仮称）に基づき、効率的な事業運営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

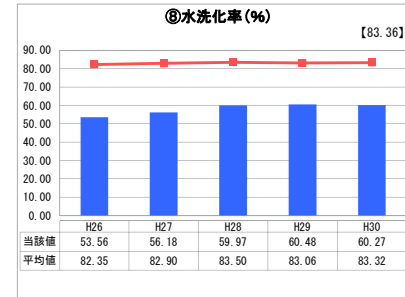
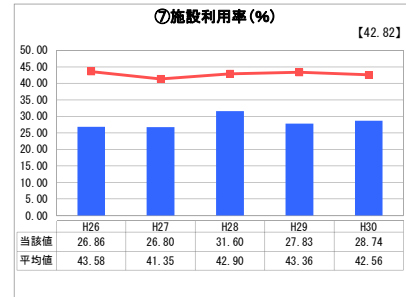
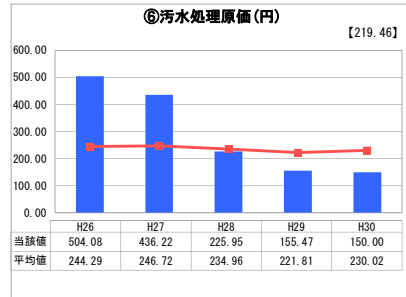
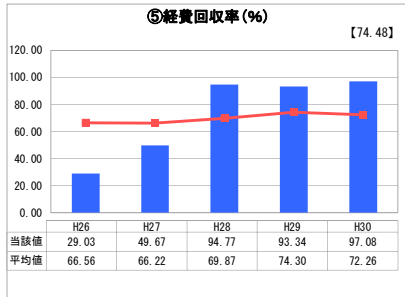
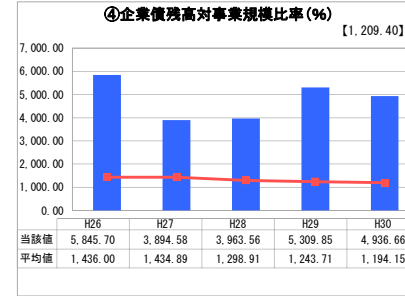
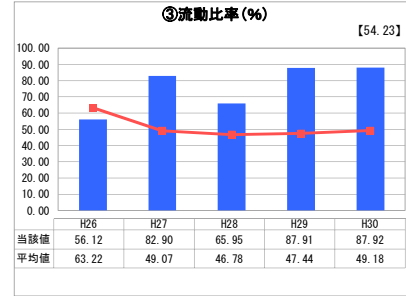
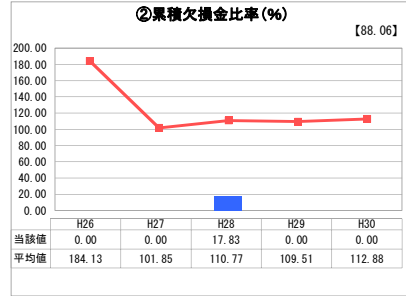
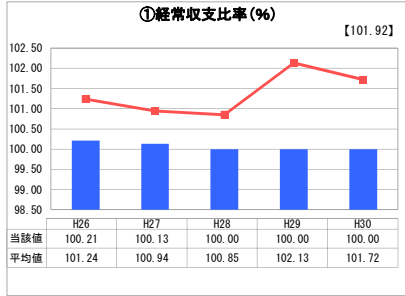
香川県 高松市

| 業務名       | 業種名         | 事業名         | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 特定環境保全公共下水道 | D2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)      | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 47.48       | 2.17        | 100.00 | 2,461                          |

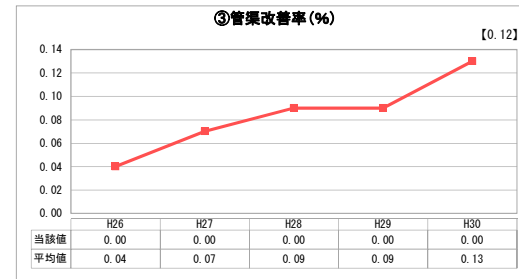
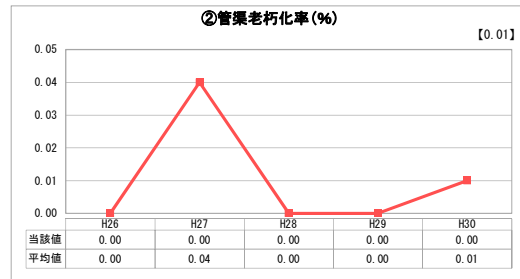
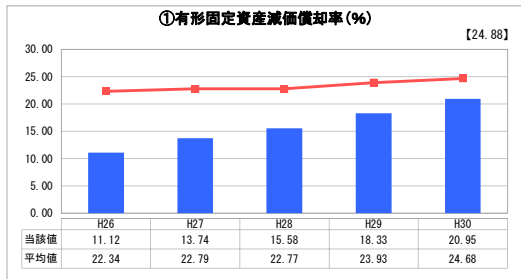
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 428,296    | 375.41                   | 1,140.88                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 9,256      | 4.16                     | 2,225.00                      |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値)   |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| [ ] 平成30年度全国平均 |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

②累積欠損金比率については、平成28年度に土地の一部を市長部局に無償譲渡したことに伴い発生した譲渡損に伴う欠損金であり、平成29年度以降、欠損金は発生していない。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値を上回っており、従来から、資本費平準化債を積極的に活用してきたことに加え、平成28年度には、流域下水道移管に伴い、企業債を借入れたこと等が要因として挙げられるが、今後は、施設整備事業債の借入れが減少していくことが見込まれていることから企業債残高も減少していく。

特定環境保全公共下水道は、現状では、公共下水道等と一体的に運営することで維持管理費等は、比較的安く抑えられていることもあり、⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、類似団体平均値より良好な数値となっているが、地域的に人口減少がより進んでいくことが見込まれるため、⑦施設利用率及び⑧水洗化率の更なる向上は望みにくい状況である。今後、経営状況は、更に厳しさを増すものと見込まれることから、より一層、効率的な事業経営に取り組む必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道は、旧合併町が行っていた事業で、最も供用開始が早い町でも平成11年度からと、公共下水道よりも整備時期が新しいため、現時点では管渠の老朽化対策は行っていない。今後の更新については、公共下水道を含め、優先順位を考慮し、効率的に行っていく。

## 全体総括

下水道計画区域内の整備が概ね完了したことから、今後は中長期的に下水道施設全体の状態を予測しながら維持管理、改築更新を一体的に捉えて計画的・効率的に管理する方針としたストックマネジメント計画に基づき、適切な事業運営に努める。

現在は、平成27年度に改定し、経営戦略を兼ねることとした高松市上下水道事業基本計画（平成24年度～平成35年度）に基づき、事業を行っているが、平成30年度に水道と下水道の組織が分離したことから、令和元年度に新たに策定する高松市下水道事業基本計画（仮称）に基づき、効率的な事業運営を実施していくが、特に、特定環境保全公共下水道の場合は、人口密集率が低い地域が多いことから、公共下水道以上に効率的な事業運営を実施する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

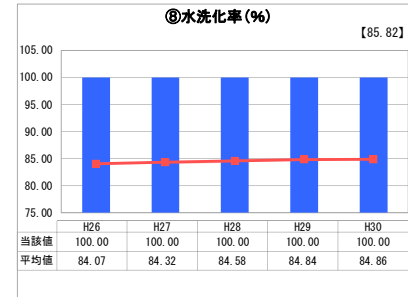
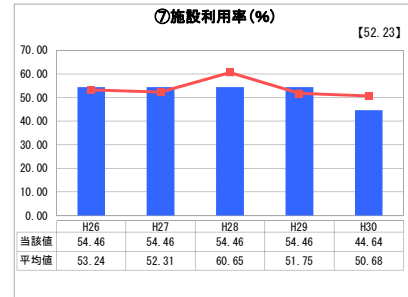
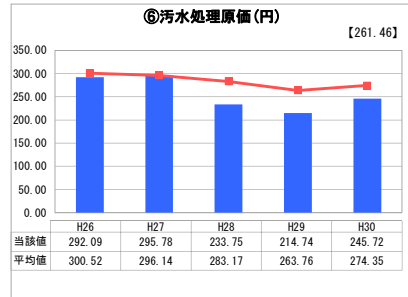
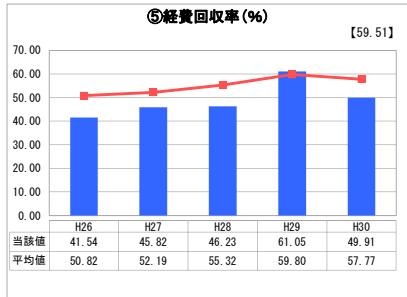
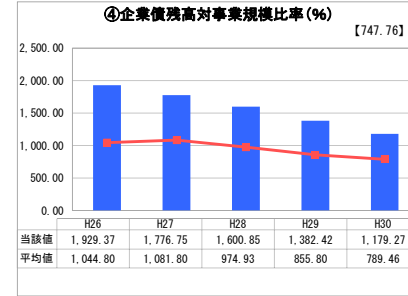
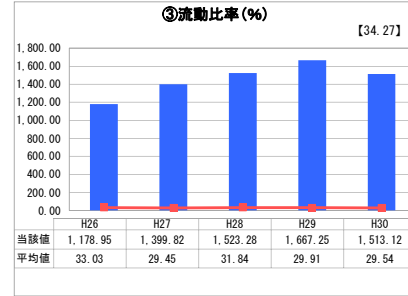
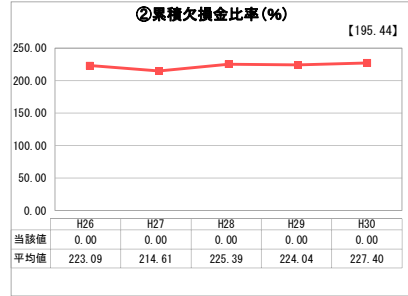
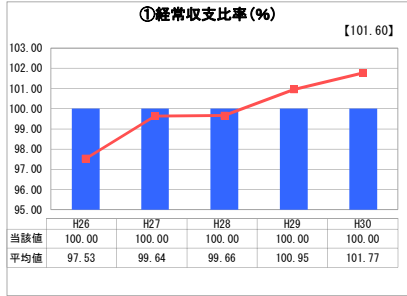
香川県 高松市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 農業集落排水 | F2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 92.28       | 0.04   | 100.00 | 2,571                          |

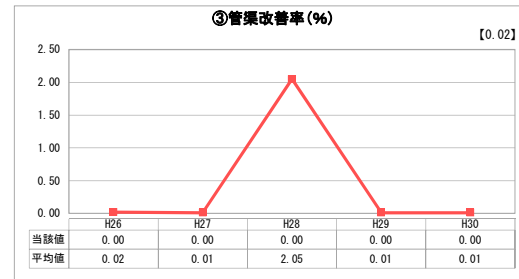
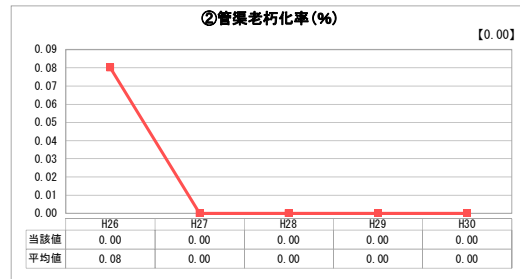
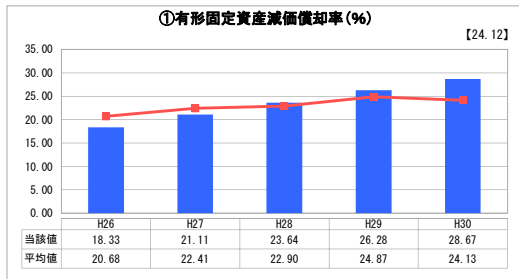
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 428,296    | 375.41                   | 1,140.88                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 155        | 0.17                     | 911.76                        |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値)   |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 平成30年度全国平均  |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、使用料で回収できない経費を一般会計からの繰入金で全額繰り入れて賄っていることから、比率は100%となっている。

④ 企業債残高対事業規模比率は年々低下してきており、これは、現在新規の企業債の借入れを行っていないため、更新の時期を迎えるまでは、今後も低下傾向で推移すると思われる。

⑤ 経費回収率については、平成30年度は、施設の修繕費等が増加したことにより低下し、類似団体平均値を下回っている。

⑥ 汚水処理原価については、平成30年度は、施設の修繕費等の増に伴い、汚水処理費が増加した一方で、有収水量も増加したため、汚水処理原価が上昇したものの、類似団体平均値より良好な数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始が平成7年頃と比較的新しく、管渠・施設等の法定耐用年数経過まで期間があり、管渠の傷みも少ないのが現状である。しかし、マンホールポンプなど、施設に負荷の掛かるものにおいては、計画的な修繕等を行い、適正な維持管理に努めている。

## 全体総括

農業集落排水事業の運営は、収入不足であり、その不足額については、一般会計繰入金で補うことにより収支を均衡させている。

また、過疎化が進んでいる地域であるため、今後利用者数の減少も見込まれる。しかし、使用料改定等による経営状況の改善を行うことは、使用者の負担を増大させることから、更なる利用者数の減少に伴う収入の減少を助長する恐れがあるため、現状では非常に難しい状況となっている。

現在は、平成27年度に改定し、経営戦略を兼ねることとした高松市上下水道事業基本計画（平成24年度～平成35年度）に基づき、事業を行っているが、平成30年度に水道と下水道の組織が分離したことから、令和元年度に新たに策定する高松市下水道事業基本計画（仮称）に基づき、効率的な事業運営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県 高松市

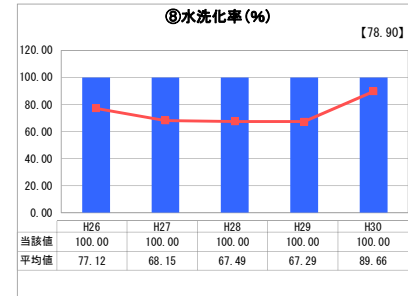
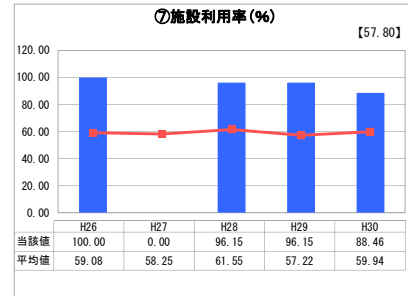
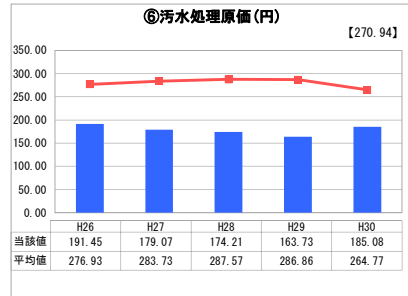
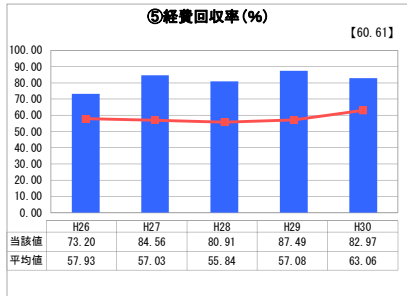
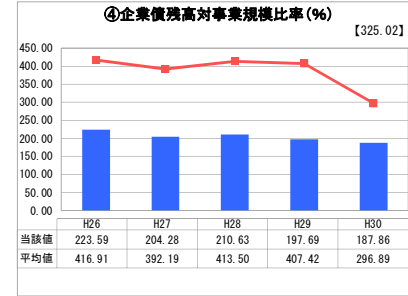
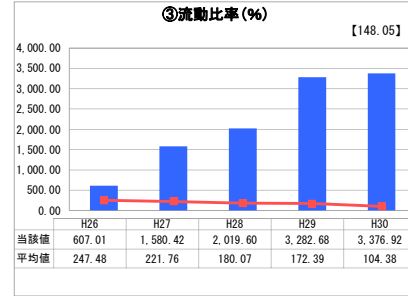
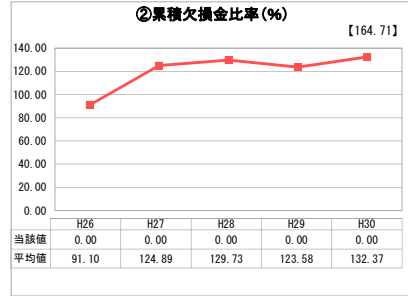
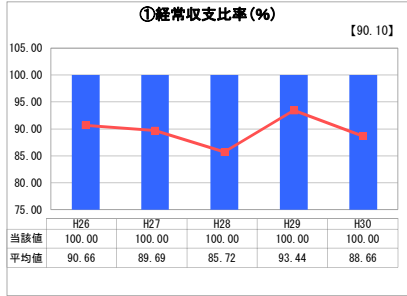
| 業務名       | 業種名         | 事業名        | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|------------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 特定地域生活排水処理 | K2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)     | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 83.94       | 0.02       | 100.00 | 3,672                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 428,296    | 375.41                   | 1,140.88                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 92         | 11.52                    | 7.99                          |

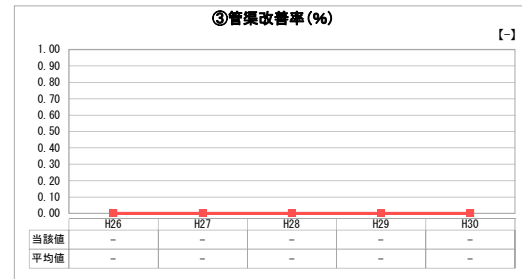
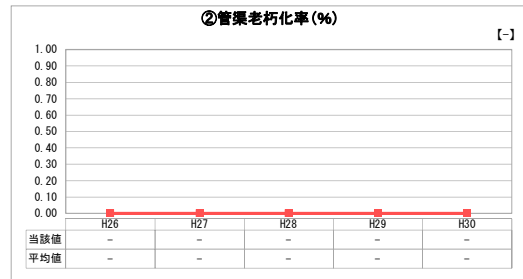
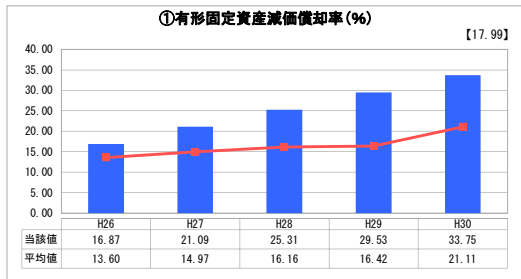
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、使用料で回収できない経費を一般会計からの繰入金で全額繰り入れて賄っていることから、比率は100%となっている。

⑤ 経費回収率については、類似団体平均値より良好な数値となっているが、経営改善に努め、一般会計の負担と使用者負担のバランスを考慮しつつ、引き続き使用料確保の適正化と汚水処理原価の引下げに努めていきたい。

その他の項目も含め、概ね類似団体平均値より良好な数値となっているが、経営改善に努め、一般会計の負担と使用者負担のバランスを考慮しつつ、引き続き使用料確保の適正化と汚水処理原価の引下げに努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

施設整備及び供用開始は平成15年頃であり、耐用年数(30年)の2分の1を経過してきているが、定期的にメンテナンスを行い、良好な状態を保っている。①有形固定資産減価償却率については、平成23年度に法適化した際に既に償却してきた金額は0円とし、その時点の残存価格を取得価格とみなして資産計上し減価償却を開始させたため、償却率が低くなっている。

## 全体総括

特定地域生活排水処理事業の運営は、収入不足であり、その不足額については、一般会計繰入金により収支を均衡させている。

今後、利用者数の減少も見込まれるが、使用料改定等による経営状況の改善を行うことは、使用者の負担が増大することから現状では非常に難しい。

なお、個別の合併処理浄化槽であるため、ある一定期間経過後は個々の利用者へ譲渡するなどの措置を検討する。

現在は、平成27年度に改定し、経営戦略を兼ねることとした高松市上下水道事業基本計画(平成24年度～平成35年度)に基づき、事業を行っているが、平成30年度に水道と下水道の組織が分離したことから、令和元年度に新たに策定する高松市下水道事業基本計画(仮称)に基づき、効率的な事業運営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。